

各位

「内分泌学ウイーク2011」の一環として第38回日本神経内分泌学会学術集会が、東京・永田町の都道府県会館 (<http://www.tkai.jp/>) で開催されます。学術集会2日目の11月26日(土)には、下記の様な講演およびシンポジウムが開催されます。この2つについて、「内分泌学ウイーク2011」の特別企画として、会員以外にも聞いていただきたく、参加登録料を無料といたします。学生・院生をはじめ会員外の来聴を歓迎します。

第38回日本神経内分泌学会学術集会
大会長 加藤幸雄

<A会場 1階101会議室>

14:45~15:30 教育講演 座長：佐久間 康夫 (日本医科大学)

視床下部一下垂体系研究の今後の課題

埼玉大学

井上 金治 名誉教授

15:40~17:50 若手シンポジウム 座長：塚原 伸治 (埼玉大学)
松田 賢一 (京都府立医科大学)

“かたち” と “もの” からアプローチする神経内分泌研究

- 1) “眼” で知り、とらえる、神経内分泌：視床下部エストロゲン受容体発現細胞の詳細な観察
森浩子 先生 (京都府立医科大学・助教)
- 2) 神経系と内分泌系をつなぐ神経内分泌系：性機能を司る脳-脊髄神経ネットワークの包括研究
坂本浩隆 先生 (岡山大学・准教授)
- 3) 下垂体前葉の組織発生と細胞機能調節に関するレチノイン酸
藤原研 先生 (自治医科大学・講師)
- 4) 新規グレリン産生細胞株の樹立とグレリン分泌調節
坂田一郎 先生 (埼玉大学・助教)
- 5) 鳥類の視床下部漏斗部で発見した新規遺伝子の機能解析—摂食調節機構に着目して—
浮穴和義 先生 (広島大学・准教授)



有楽町線・半蔵門線

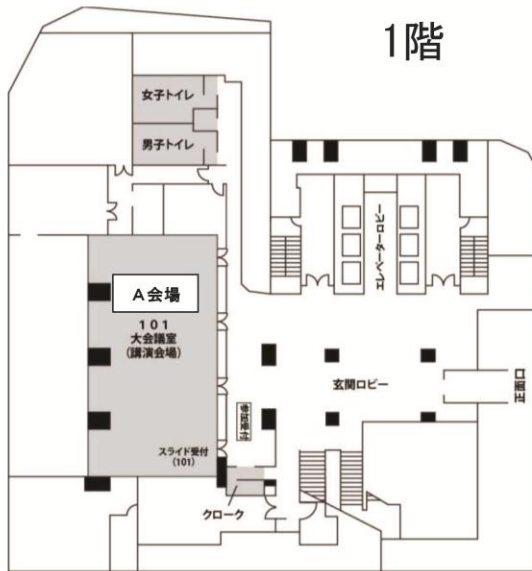
「永田町駅」5番出口から地下鉄連絡通路を経て徒歩約1分

南北線

「永田町駅」9番B出口から地下鉄連絡通路を経て徒歩約1分

丸の内線・銀座線

「赤坂見附駅」D出口から徒歩約5分



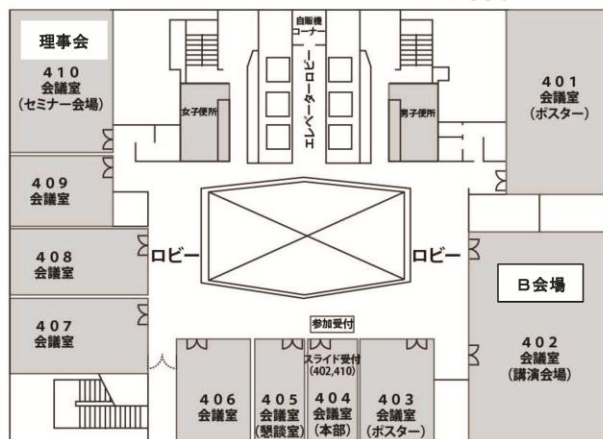
会場案内

第38回日本神経内分泌学会学術集会では、左図にある会場で以下の部屋を使います。

1階 A会場 (101会議室)
クローク
総合受付

4階 B会場 (402会議室)
410会議室 (理事会)
404会議室 (本部)
405会議室 (懇談室)

4階



※各種委員会は、個別に委員の先生にお知らせします。

※当日、4階に展示会場を設けるかも知れません。当日、会場前に表示します。

※ポスターやセミナー会場と印された会議室は、23-24日の学会で使用される部屋です。三学会共通のプログラム集か下記のURLでご確認ください。

<http://www.jichi.ac.jp/naibunpitsu/week2011/index.html>